

やまゆり通信

修了号



令和 5年 3月 24日

令和4年度修了

令和4年度も新型コロナウイルス感染症を考慮しながらの1年となりましたが、保護者・地域の方々のご理解とご支援を賜り、可能な限り行事を実施することができました。本当にありがとうございました。ご観覧の際に触れていただきました子どもたちの笑顔、元気いっぱいな姿がすべてだと感じております。まだまだ不十分な点は多くございますが、教職員一同努力していく所存でございます。来年度もどうかご支援のほどよろしくお願いいたします。

さて、児童生徒のみなさんはこの1年も明るく元気に学園生活を過ごすことができていたね。一人一人が着実に力を伸ばし、さらに新たな自分の可能性を見つけることに励んでいる姿には、頼もしさやたくましさを感じました。そして何よりもみなさんのやさしさをもって人と接する姿に感心しました。みなさんの友だちやご家族、先生方へのやさしさがこのやまゆり学園の居心地のよさを作りだしているのだと思います。4月から1つずつ学年が上がります。自分の力、可能性を信じてチャレンジしていきましょう。ご家族・地域の方々、そして先生方はみなさんを応援しています。すてきな笑顔が輝く1年にしていきましょう！

ところで、野球のWBCがあり、日本がみごと14年ぶりの優勝をかざりました。準決勝のメキシコ戦、決勝のアメリカ戦といずれも劇的な勝利に日本中がわきました。そのような大会、世界中で話題になっていたのが日本人のファンの観戦マナーのすばらしさでした。サッカーのワールドカップでは試合後にファンが観客席を掃除して帰ったり、選手がロッカールームをきれいに片付け、お礼の折り鶴を飾って帰るなど、日本人選手やファンのマナーが世界中のメディアで取り上げられました。今回もファンが対戦相手に敬意を表したり、みんなで野球を楽しもうという気持ちがひしひしと伝わってくる大会でした。ファンがこのような姿勢になるのは、やはり選手の影響が大きいのだと思います。日本の選手が相手国・選手に対してリスペクト(尊敬・敬意)している姿がすばらしく、それが見る側、応援する側の人々にも同じ姿勢、行動に向かわせるのだと思います。このようなファンの姿勢が選手たちのすばらしいプレーにつながり、またファンを魅了していきます。ラグビーでは試合終了のことを「ノーサイド」(敵味方関係なし)といいます。「試合が終われば同じ仲間である。」何て素敵な言葉なんでしょう。スポーツには勝ち負けがついてきます。負けたときの痛みを知っているからこそ、勝ったときの負けた相手へのリスペクトの大切さがわかるのではないかと思います。今こんなにWBCが盛り上がるのは、スポーツを通して、人と人の関わり方の大切さ、すばらしさをみんなが感じているからではないでしょうか。今大会は大きなものを残してくれる大会でした。



4月当初の予定

- 6日(木) 着任式 始業式(進級式)
春の交通安全運動(~15日)
- 10日(月) 開園式・入園式
給食開始 体位測定
- 11日(火) お弁当給食
- 12日(水) レクリエーション大会
職員会議
- 14日(金) 校内学力テスト(後期課程)



お知らせ

今年の離任式を3月24日(本日)修了式の日に行いました。少し早いのですが、新年度がスムーズにスタートできるよう、県内の学校が足並みをそろえる流れとなっております。ご理解とご了承をお願いいたします。

今年度異動される方は2名となりますが、正式には4月1日をもって確定となりますので、お名前や新たな勤務先については、今回紙面では控えさせていただきます。新年度着任者と共にお知らせする予定としておりますのでご了承ください。

なお、離任者が在任中は、何かとご支援いただき、また温かく見守っていただきましたこと心より感謝申し上げます。2人の先生方は、この上北山村で培った力を新しい勤務先でも遺憾なく発揮されることでしょう。2人の先生が抜けた穴は大きいですが、残された者で頑張り、更にパワーアップしたやまゆり学園にしていく所存でございます。ありがとうございました。

4月1日よりマスクの着脱は、個人・保護者の判断にゆだねます。来校される方々も同様ですので、ご理解とご協力をお願いいたします。